第1 監査の対象

公益財団法人春日井市健康管理事業団(以下「事業団」という。)

第2 監査の期間

令和3年11月9日から令和4年1月17日まで

第3 監査の方法

事業団における出納その他の事務が関係法令等に基づき適正に行われているかについて、春日井市監査基準に準拠し、主として令和3年度の関係書類を調査するとともに、関係職員から説明の聴取及び現地調査を行った。

なお、監査は次のとおり主な着眼点を設定し、対象となる事項について調査を行った。

- 1 所管課に関する事務
- (1) 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- (2) 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。
- 2 事業団に関する事務
- (1) 定款、経理規程等の諸規程は整備されているか。
- (2) 出資目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 経営成績及び財政状態は良好か。
- (4) 会計経理及び財産管理は適切か。
- (5) 資金の運用は適切で、経費節減は図られているか。
- (6) 関係帳票の整備・記帳及び領収書等の証拠書類の整備・保存は適切か。

第4 監査の結果

事業団は、出資目的に沿って事業が運営され、調査を行った事項はおおむね適正に 執行されていると認めた。

第5 事業団の概要

1 概況

(1) 設立目的

事業団は、春日井市の設置する健康管理施設の管理をするとともに、春日井市の 地域健康度の向上に寄与することを目的とする。

- (2) 組織(令和3年10月1日現在)
 - ア 評議員会(評議員6名)
 - イ 理事会(理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事6名)、 監事2名
 - ウ 職員数40名(事業団職員33名、市派遣職員1名、嘱託職員6名)

(3) 事業内容

- ア 休日急病診療及び平日夜間診療に関すること。
- イ 生活習慣病予防対策に関すること。
- ウ 各種がんの早期発見、早期予防の推進に関すること。
- エ健康づくりに関すること。
- オ 健康相談及び健康教育に関すること。
- カ 健康管理施設の維持管理に関すること。
- キ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(4) 市との関係

昭和53年4月に市の健康管理施設の管理等を目的として財団法人春日井市健康 管理センターが設立され、基本財産の800万円及び運用財産の200万円は本市が全 額を出捐している。

平成2年11月に財団法人春日井市健康管理事業団に名称変更し、平成18年度から春日井市健康管理センター及び保健センターの指定管理者となった。

平成23年11月に公益財団法人春日井市健康管理事業団に移行し、平成26年6月の春日井市総合保健医療センター開設に伴い、同センターの指定管理者となった。

2 事業状況

本市の公の施設である総合保健医療センターと保健センターの指定管理者の指定 を受けて管理運営を行っており、指定期間は令和8年3月31日までである。 指定管理業務として、総合保健医療センターでは休日・平日夜間急病診療、健診事業、健康づくり事業、施設管理等を行い、保健センターでは健診事業、健康づくり事業、貸館事業、施設管理等を行っている。主な業務の実績は、次のとおりである。

(1) 休日·平日夜間急病診療業務

休日及び平日の夜間における急病患者に適切な医療を提供する。

区 分	場所	令和	2 年度	令和	元 年度
土曜日		50 日	253 人	50 日	1,059 人
日曜日・祝休日及び年末年始	総合保健医療センター	71 日	2,693 人	76 日	9,617 人
平日夜間		244 日	407 人	240 日	1,384 人
合	計	365 日	3,353 人	366 日	12,060 人

(2) 健診事業

疾病の早期発見及び疾病予防に対する意識の向上を図る。

区 分	場 所 令和2年度		令和 元 年度		
人間ドック		212 回	7,395 人	238 回	9,476 人
脳ドック		212 回	1,002 人	238 回	857 人
骨密度検査(人間ドック受診時)		212 回	3,945 人	238 回	4,940 人
特定健診・後期高齢者健診(人		010 🖃	E 140 I	000 🖃	C FOF 1
間ドック受診時)		212 回	5,143 人	238 回	6,505 人
骨密度検査	総合保健医療センター	11 回	68 人	12 回	94 人
乳がん検査		97 回	2,094 人	99 回	2,614 人
乳がん検査(医師会依頼による		45 回	437 人	49 回	439 人
乳房X線撮影)		45 凹	437 八	49 凹	439 八
子宮がん検査		97 回	1,547 人	99 回	2,082 人
基本健診		210 回	3,002 人	238 回	3,411 人
生活習慣予防健診		5回	5人	8回	8人
ヤング健診	総合保健医療センター	111 回	211 人	173 回	366 人
イング健砂	保健センター	5回	83 人	5回	107 人
### p ⁺ > fr ⁴ 1. = Λ	総合保健医療センター	62 回	191 人	74 回	193 人
特定健診	保健センター	5回	229 人	5回	300 人

健診受診者に対し結果の説明及び保健指導を行い健康管理の意識の向上を図る。

区分	場所	令和 2 年度	令和 元 年度
人間ドック結果説明		7,395 人	9,475 人
人間ドック個別指導		243 人	410 人
脳ドック個別指導	炒 △ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	127 人	181 人
保健指導	総合保健医療センター	5,330 人	6,164 人
糖尿病性腎症重症化予防事業		10	10
保健指導		18 人	12 人
ヤング健診個別指導	総合保健医療センター	2人	7人
イング度砂個別相等	保健センター	0人	0人
肚	総合保健医療センター	800 人	967 人
特定保健指導	保健センター	22 人	30 人

(3) 健康づくり事業

健康の維持、回復及び増進を支援し、健康で明るい地域社会の形成に寄与する。

区 分	場所	場 所 令和2年度		令和 元 年度	
体力測定		58 回	339 人	81 回	749 人
体力測定個別指導	保健センター	122 回	683 人	58 回	165 人
事後支援講習会		443 回	12,900人	629 回	25,304 人
伊 虫 ベノい 準 南	総合保健医療センター	141 回	2,544 人	213 回	13,979 人
健康づくり講座 保健センター		264 回	3,197 人	402 回	11,583 人
健康マイスター養成講座	総合保健医療センター	1回	32 人	1回	32 人

(4) 貸館事業

スポーツ、教育を通じて心身ともに健康的な生活を送るための活動を支援する。

• 運動訓練室 546.44 m²

・大会議室 100席 など

区 分	令和 2 年度	令和 元 年度
貸館事業利用者数	21,081 人	41,832 人

3 決算状況

事業団の令和元・2年度の貸借対照表(第1表)、正味財産増減計算書(第2表)は 次のとおりである。

令和3年3月31日現在

(単位:円)

Т	T	ı	(単位:円)
科 目	令和2年度	令和元年度	増 減
I 資産の部			
1 流 動 資 産			
現 金・預 金	89,221,881	146,846,139	△ 57,624,258
未 収 金	11,442,928	17,718,410	\triangle 6,275,482
貯 蔵 品	2,553,628	2,578,939	△ 25,311
流 動 資 産 合 計	103,218,437	167,143,488	△ 63,925,051
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産 預 金	8,000,000	8,000,000	0
基本財産合計	8,000,000	8,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	217,663,830	204,806,632	12,857,198
特 定 資 産 合 計	217,663,830	204,806,632	12,857,198
(3) その他固定資産			
工具・器具及び備品	6,218,086	8,039,562	△ 1,821,476
工具・器具及び備品減価償却累計額	$\triangle 5,774,097$	\triangle 7,278,466	1,504,369
その他固定資産合計	443,989	761,096	△ 317,107
固定資産合計	226,107,819	213,567,728	12,540,091
資産合計	329,326,256	380,711,216	△ 51,384,960
Ⅱ 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	78,205,806	141,769,469	\triangle 63,563,663
前 受 金	0	172,800	△ 172,800
預 り 金	3,274,332	3,437,609	△ 163,277
流 動 負 債 合 計	81,480,138	145,379,878	△ 63,899,740
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	217,663,830	204,806,632	12,857,198
固定負債合計	217,663,830	204,806,632	12,857,198
負 債 合 計	299,143,968	350,186,510	\triangle 51,042,542
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
春日井市補助金等	349,011	597,445	△ 248,434
春日井市出資金	8,000,000	8,000,000	0
指定正味財産合計	8,349,011	8,597,445	△ 248,434
(うち基本財産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	21,833,277	21,927,261	△ 93,984
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	30,182,288	30,524,706	△ 342,418
負債及び正味財産合計	329,326,256	380,711,216	△ 51,384,960

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位・円)

科目	令和2年度	令和元年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	1,042	560	482
基本財産受取利息	1,042	560	482
②特定資産運用益	20,480	21,645	\triangle 1,165
特定資産受取利息	20,480	21,645	
③事業収益	80,129,500	177,708,137	\triangle 97,578,637
休日•平日夜間急病診療収益	26,650,449	103,692,962	
健診事業収益	53,479,051	74,015,175	
④受取補助金等	782,523,372	726,648,002	
春日井市補助金	80,767,113	94,241,708	
春日开巾補助並 春日井市指定管理料	701,507,825	631,984,951	69,522,874
(本)			$\triangle 172,909$
	248,434	421,343	
⑤雑収益	1,001,200	1,084	1,000,116
維収益	1,001,200	1,084	1,000,116
経常収益計	863,675,594	904,379,428	△ 40,703,834
(2)経常費用			
①事業費	674,470,770	704,029,217	$\triangle 29,558,447$
(休日•平日夜間急病診療)	169,189,569	186,331,121	$\triangle 17,141,552$
(健診事業)	501,417,983	513,685,271	\triangle 12,267,288
(貸館事業)	3,863,218	4,012,825	\triangle 149,607
②管理費	189,298,801	200,075,653	$\triangle 10,776,852$
(事務管理費)	189,298,801	200,075,653	$\triangle 10,776,852$
経常費用計	863,769,571	904,104,870	$\triangle 40,335,299$
当期経常増減額	△ 93,977	274,558	$\triangle 368,535$
2経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	7	1	6
工具・器具及び備品除却損	7	1	6
経常外費用計	7	1.	6
当期経常外増減額	 △ 7	<u>△ 1</u>	\triangle 6
当期一般正味財産増減額	△ 93,984	274,557	△ 368,541
一般正味財産期首残高	21,927,261	21,652,704	274,557
一般正味財産期末残高	21,833,277	21,927,261	△ 93,984
Ⅲ指定正味財産増減の部	41,000,411	41,341,401	△ 50,504
一般正味財産への振替額	A 240 424	△ 421,343	172,909
一般正味財産への振替額	△ 248,434	·	·
	△ 248,434	△ 421,343	172,909
当期指定正味財産増減額	△ 248,434	△ 421,343	172,909
指定正味財産期首残高	8,597,445	9,018,788	△ 421,343
指定正味財産期末残高	8,349,011	8,597,445	△ 248,434
Ⅲ正味財産期末残高	30,182,288	30,524,706	△ 342,418